

1. 教育計画

公衆衛生看護学

分野	統合分野 公衆衛生看護学	科目名	障がい者保健活動論
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	3 年生
方法	講義	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	障がい児各論 当事者の視点から 社会資源の育成と活用の援助 地域保健活動の実際 障がい者保健活動論	外部講師 宮崎 恭平 外部講師 外部講師 鈴木 綾 外部講師 和田 美智代 専任教員 遠藤 朋子	(8 時間) (2 時間) (4 時間) (4 時間) (10 時間)
講師の実務経験	遠藤：看護師として星総合病院に 7 年		
学習目標	障がいの概念と対策を知り、基本的考えを理解する。 障がいを持つ人や家族への具体的支援の内容と方法を理解する。		
成績評価方法	筆記試験 100 点 (宮崎 恭平 50 点、遠藤 朋子 50 点) 出席状況、授業態度も評価に含みます		
使用テキスト	保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論 (メチカルフレンド社)		
参考文献	国民衛生の動向 保健師業務要覧 (日本看護協会)		
履修上の留意	社会福祉論の講義を復習して臨む		
講師からの メッセージ	地域の中で障がいを抱えて生活する対象者を「生活者」として捉え、対象者を個人として尊重した支援を学びましょう。また、4 年次の療育センター実習につながるものですので、しっかり学んでください。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	障害・療育の概念	療育とは 最近の障害児の傾向と取り巻く環境	講義	宮崎
2	2	障害児を理解するための基礎知識	主な疾患と診断、検査	講義	宮崎
3	2	早期発見・早期療育	早期発見のシステムづくり	講義	宮崎
4	2	障害児とのかかわり	法的根拠と福祉制度 地域との関わり	講義	宮崎
5	2	当事者の視点から	障がいとともに地域で暮らすということ	講義	外部 講師

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
6	2	地域における社会資源提供活動①	社会資源の概要と現状	講義	鈴木
7	2	地域における社会資源提供活動②	社会資源の育成と資源活動に関わる援助	講義	鈴木
8	2	地域保健活動の実際①	精神障がい者支援	講義	和田
9	2	地域保健活動の実際②	保健活動の実際	講義	和田
10	2	障がい者(児)保健活動の理念	ノーマライゼーション 障がい者(児)の定義 障がい者(児)保健福祉施策の歴史的変遷	講義	遠藤
11	2	障がい者(児)保健福祉施策	関連法規 障害者総合支援法 障害者の手帳	講義	遠藤
12	2	障がい者保健における保健師の役割	保健師活動の根拠 保健指導の考え方と視点	講義	遠藤
13	2	難病保健福祉施策	難病対策の動向	講義	遠藤
14	2	難病患者の生活と保健指導	難病の在宅療養 地域サポートシステムの構築と社会資源	講義	遠藤
15	2	評価	筆記試験(宮崎・遠藤)		